

令和7年度

第1回 有玉小 学校運営協議会

【入学式】

浜松市立有玉小学校
令和7年5月8日（木）

目次

	ページ
1 有玉小学校学校運営協議会委員名簿	1
2 令和6年度 第5回会議録	2
3 令和6年度 自己評価表	4
4 令和7年度 有玉小グランドデザイン	5
5 令和7年度 有玉小学校学校経営構想	6
6 令和7年度 年間行事予定	10
7 夢育やらまいか事業に対する意見書	12

別紙資料

- ・ 浜松市学校運営協議会規則
- ・ 有玉小学校いじめ防止基本方針
- ・ 家庭学習の手引き
- ・ 有玉っ子サポーター関連資料

年間開催計画（予定）

第1回	5月 8日（木）	10:00 ～ 11:30
第2回	6月25日（水）	13:15 ～ 15:00
第3回	10月 7日（火）	13:15 ～ 15:00
第4回	12月 8日（月）	10:00 ～ 11:30
第5回	2月17日（火）	10:00 ～ 11:30

令和7年度

有玉小 学校運営協議会 委員名簿

(敬称略)

	氏 名	役 職
委 員	石田 隆康	有玉団地自治会長
委 員	中村佐佳恵	主任児童委員
委 員	山本 恭子	積志地区民生委員・児童委員
委 員	松原 廣	東畑谷自治会長
委 員	高林 和行	有玉小 P T A 顧問
委 員	村田 実佳	有玉小 P T A 会長
委 員 学校支援コーディネーター	高林 愛子	元有玉小 P T A 副会長
学校支援コーディネーター	小木曾 佳名子	
校 長	伊藤 千恵	
教 頭	上野 仁悟	
主幹教諭	本楳 俊介	
C S 担当教員	中城幸之助	
C S ディレクター	安村 有季子	

オブザーバー

	氏 名	所 属
オブザーバー	小池 誠	積志協働センターCS 担当

令和6年度 第5回 有玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年2月18日（火） 10時00分から11時45分まで
- 2 開催場所 有玉小学校 図書室
- 3 出席委員 岩井 正次、竹内 有徳、山本恭子、太田 克美、中村 佐佳恵
北出 勉、高林 愛子（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 高林 和行
- 5 オブザーバー 小池 誠（積志協働センター）
- 6 学 校 飯島 美智子（校長）、上野 仁悟（教頭）、古橋 麻紀子（主幹教諭）
竹内 貴子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 竹内 貴子
- 10 議長の選出

前回の協議会において、中村委員から次回の議長を務める旨の申し出があったことを確認し、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）令和7年度有玉小学校教育方針の説明と承認
- （2）学校運営協議会 自己評価
- （3）報告

12 会議記録

司会から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和7年度有玉小学校教育方針の説明と承認

○議長の指示により、令和7年度教育方針の説明が校長よりあった。

○議長の指示により、令和7年度教育活動についての説明が、主幹教諭よりあった。これを受けて、三つのグループにて意見交換を行った。各グループからは、以下の発言があった。

【グループ①（岩井会長、高林愛子委員、主幹教諭）】

- ・「働きやすさと働きがい」これが崩れると子供たちが崩れてしまうと思うので、新しい視点で特に実践してほしい。

【グループ②（北出委員、竹内委員、太田委員、校長）】

- ・学校だけでなく、支援者を増やしていくことが課題なのではないか。

【グループ③（中村委員、山本委員、オブザーバー、教頭）】

- ・子供たちが、自分で生きる場所を見つけられるように、良い対人関係を築く方法をアドバイスするのは大切。

○学校運営の基本方針について、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 学校運営協議会 自己評価

会長の指示により、学校運営協議会自己評価について、同グループにて意見交換を行った。各グループからの意見を以下のようにまとめた。

<評価項目 1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

熟議することができた。「できた・ありがとう・やってみよう・つなげよう」の合言葉が子供たちに浸透している。地域を意識した活動を行っており、地域の人々との関わりの中で、子供たちが成長していると感じる。

<評価項目 2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

学校支援活動などについて、熟議することができた。ボランティア活動に関しては、十分理解できたが、今後支援者を増やしていくことと、地域の人々に理解してもらえるように、工夫していくことが必要。

<評価項目 3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

地域に対して十分に情報発信できていると思う。より情報を伝えていくために、どうしていくのが課題。

<評価項目 4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）。

授業参観を増やし、運営協議会委員自身の教育現場についての理解を深めること。学校、保護者、地域の連携を強化していくことが目標。

(3) 報告

学校支援活動について、学校支援コーディネーターより報告があった。

○「夢育やらまいか」についての報告が教頭よりあった。

(4) その他

○来年度の組織についての説明が、校長よりあった。

○来年度の学校運営協議会の日程についての説明が、教頭よりあった。

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(有玉小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 子供たちとの交流・話し合いの場を持つとともに、教育現場の先生方との意見交換を通じて熟議を深める。
- 学校支援活動における学校・地域・家庭の役割分担を明確にして、連携強化に努める。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

校長から学校運営構想、いじめ防止基本方針、家庭学習の手引きの説明を聞いて、「できた」「ありがとう」「やってみよう」「つなげよう」の合言葉に基づく基本方針の具現化を理解して、熟議を深めることができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

授業参観を通じて、子供たちの様子が全体として落ち着いていて、基本方針が着実に実践されていることが分かった。

さらに、授業参観「有玉地区、有玉小学校の未来について考えよう」では、地域の果たす役割の大きさを改めて認識し、熟議を深めることができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校ホームページ、「有玉小地域だより」、CS通信「一緒に作ろう！CS」で情報発信を行った。今後は、自治会組織を通じた関係資料の回覧などで協議会活動の周知に一層努めたい。

また、有玉っ子サポーターによる学校支援活動は、運営協議会の間接的周知につながっていると考え

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 子供たちとの話し合い機会を増やし、委員自身の教育現場への理解向上を図る。
- 学校支援活動における学校・地域・家庭の役割分担を明確にして、連携強化に努める。

令和7年度 有玉小学校グランドデザイン



校章：
玉をつつむ手、羽ばたく鳥
の2つの意味が込められている

学校教育目標

みがこう 自分 ・ かがやこう 仲間と

第4次浜松市教育総合計画

～ 描く夢や未来の実現 ～

- ・ 自分らしさを大切にするこども
- ・ 他者と協働し、主体的に行動できるこども
- ・ 自己調整しながら、粘り強く取り組むこども

学校経営の理念

つながりの中で 互いに
認め合い 支え合い 磨き合い 高め合う

積志中校区めざす子供像

- ・ 学校や地域で場に応じたあいさつができる子
- ・ より多くの人との人間関係を深めていことができる子
- ・ 家族と地域に感謝し、夢に向かって努力する子

合言葉



目指す子供の姿

自分らしさを大切に、他者と協働し合い、粘り強く取り組む子

認め合う子 支え合う子 磨き合う子 高め合う子

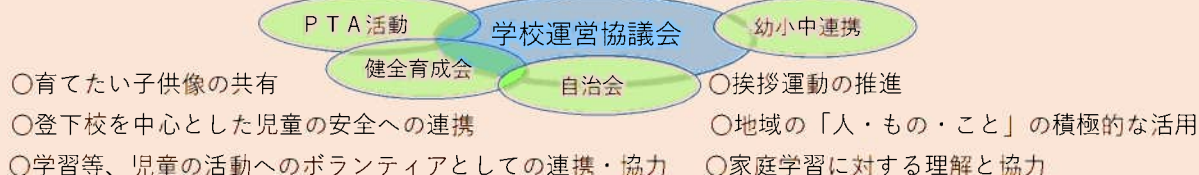
取組（P:計画、D:実践）

目指す子供像	知 確かな学力	徳 豊かな心	体 健やかな体
認め合い できた いいね	【自ら考え、学び合う子】 ◎表現力や思考力を身につかせ、個別最適な学びや共同的な学びを通して自分の考えを広げ、伝えることができる子 □自分の考えを持つ	【自らかかわり認め合う子】 ◎振り返ったり、認め合ったりする場をふやり、自信をもって自分や友達のよいところを言える子 □自分のよさを知る	【自ら鍛え、高め合う子】 ◎心身の健康のために、運動や保健を通して、仲間と共に高め合い、進んで運動に親しんだり、健康や安全に気を付けて生活したりしようとする子 □いろいろな運動の楽しさを実感している
支え合い ありがとう	□自分の考えを分かりやすく伝える	□相手のよさを認め、助け合う	□仲間と共に活動に取り組む
磨き合い やってみよう	□自分の考えを広げる	□よりよくするための方法を自分で考えて、実践する	□心身の健康を育む
高め合い つなげよう	□学んだことを選んで使う	□よりよくする方法をみんなで共有し、生かす	□安全への意識を高める
	【自ら考え、学び合う子】 90%	【自らかかわり、認め合う子】 100%	【自ら鍛え、高め合う子】 90%

評価（C:振返、A:改善）

発達支援教育の理念に基づいた児童理解と支援

有玉小コミュニティスクール～家庭・地域と連携・協力し、共に歩む学校～



「チーム有玉」人づくり宣言（目指す学校の姿）

- 知・徳・体のバランスのとれた『未来の創り手』を育むことを目指します。
- 子供が自分らしく力を伸ばすことのできる学校・学級づくりを進めます
- 「すべての子供を、すべての職員で」支援や指導を進めます
- 互いに励まし合い、働きやすさと働きがいのある職員集団を目指します





令和7年度 有玉小学校 学校経営構想

1 はじめに

現代社会は「VUCA」時代※と言われ、これは社会やビジネスにとって未来の予測が難しくなる状況のことを意味している。言い換えると、現代は変化のスピードが速く、子供たちの安心や安全の保障はより難しい状況になっているといえる。そのような中、コロナ禍も経て、あらためて教育の「不易と流行」とは何なのかが問われており、この問いを追求し続けることは、学校教育の存在価値の追求につながると考える。

本校では、これまで子供を中心に据えた教育、日々安定した教育活動が展開され、落ち着いた雰囲気の中で学習を進めることができている。そのベースを大切にしながら、人とのかわりの中で主体性を磨き、自分を高め、仲間と励まし合い粘り強く努力することのできる人づくりを進めていく。

※VUCA時代…Volatility（変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧性）
の頭文字を取った造語

2 『第4次浜松市教育総合振興計画』（令和7年度～令和16年度）

教育理念

『描く夢や未来の実現』

主体性：物事を自分事としてとらえ、目の課題の解決や、描く未来の実現に向けて粘り強く取り組む

多様性・包摂性：一人一人の自分らしさを認め、互いを尊重しあいながら、誰もが活躍できる環境を実現していく。

信頼・協働：それぞれの立場の人が人や組織に信頼を置き、協働したり、相互に作用したりして、よりよい関係性を構築していく。

目指すこどもの姿

- 自分らしさを大切にすること
- 他者と協働し、主体的に行動できるこども
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むこども

目指す教職員の姿

- こどもの自分らしさを受け止める教職員
- 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- 専門性と指導力を磨き続ける教職員



第4次浜松市教育総合計画 計画の体系

キーワード：しなやかに生き抜く 知・徳・体 グローカル人材 未来の創り手

① 「未来の創り手に求められる力の育成」（方針1：自分や浜松の未来を創る人づくり）

VUCA時代をたくましく、しなやかに生き抜く力を育むために、市は求められる力として、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな心身」を上位に挙げている。これまでの日本型教育のいわゆる「不易」としての「知・徳・体」一体型教育をあらためて大切にしてい

くことを意味している。次に挙げているのは「グローバル人材※の育成」「情報活用能力の育成」である。令和6年度は、令和4・5年度の2年間の市教育研究指定による研究の成果を生かし、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した授業改善をさらに進めたことにより、子供たちは自分の考えを持ち、主体的に学ぶことができた。また、学び方を選び、課題解決に生かすこともできたといった成果も得られた。さらに、主体的な家庭学習の在り方も模索してきた。このように本校で続けてきた授業改善を一層進める中で、『未来の創り手』を育成していきたい。

※グローバル人材…グローバルとローカル合わせた造語。グローバルな視点、経験を持っており、地域社会や経済の活性化、持続的発展に貢献する人材のこと

キーワード：困り感 子供の幸せ 支援体制 未然防止 報告・連絡・相談

② 「多様なニーズに対応した学びや支援の充実」(方針1：自分や浜松の未来を創る人づくり)

時代の変化とともに、子供たちや保護者のニーズが多様化してきている。これらに対応した学びや支援の充実が求められているが、中心にあるのは『子供の幸せ』であることを常に念頭に置きたい。そのためには、一人一人の子供の困り感に寄り添う支援が第一であり、このことを保護者と共有して支援を進めていくことを基本姿勢としたい。また、学校だけで解決しようとするのではなく、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、その他外部機関と連携したきめの細かい支援体制をつくっていく。こうした体制は、生徒指導におけるいじめ等問題行動の未然防止にもつながると考える。さらに、教職員間の報告・連絡・相談を密にし、先手の指導、支援を心掛けたい。

こうしたきめ細かな指導・支援には発達支援教育の理念に基づいた児童理解が欠かせない。発達支援学級及び通常学級の全ての子供を対象とした発達の特性への理解を深め、その子の困り感に寄り添う対応を教職員全体で行っていくことを最重要視したい。

3 令和7年度学校経営方針

学校教育目標

みがこう自分・かがやこう仲間と

目指す子供像

確かな学力…自ら考え、学び合う子

豊かな心…自らかかわり、認め合う子

健やかな体…自ら鍛え、高め合う子

目指す学校の姿

○子供が自分らしく学び合う学校～子供と教職員、子供同士の安定した人間関係づくり～

○教職員が互いを尊重し合い、高め合う学校～働きやすさと働きがいのある教職員集団づくり～

○家庭・地域と信頼し合う学校～学校と保護者、学校と地域との信頼関係づくり～



本校は昭和54年に積志小学校から分離した学校で、令和7年度は創立47年を迎える。従来この地区に住んでいた住民と宅地化により新しく移り住んできた住民が混在する地域である。コロナ禍を経て、地域の祭り等の催し物も復活し、その結束力を強めている。保護者や地域の学校への理解はあり、一方で期待も大きい地域である。令和4年度からスタートした学校運営協議会（コミュニティスクール）も4年目（第2期）を迎え、学校支援活動（ボランティア活動）等軌道に乗った活動が行えている。子供たちは素直で明るく、伸び伸びとしている。他者に対しても寛容であり、「おはよう」「ありがとう」などの挨拶も気持ちよくすることができる。一方、決められたことには一生けん命に取り組めるが、自信のなさや挑戦する気持ちにやや欠けるといった傾向も見られる。

以上のような実態を踏まえ、学校教育目標を「みがこう自分 かがやこう仲間と」とする。この目標の具現化として、自分の考え（自分らしさ）を大切に、他者と協働し合い、粘り強く取り組む子を目指す子供の姿とし、令和7年度の教育活動を進めていくこととする。

4 令和7年度教育課程編成上の着眼点

着眼点①：知・徳・体を一体的に育む

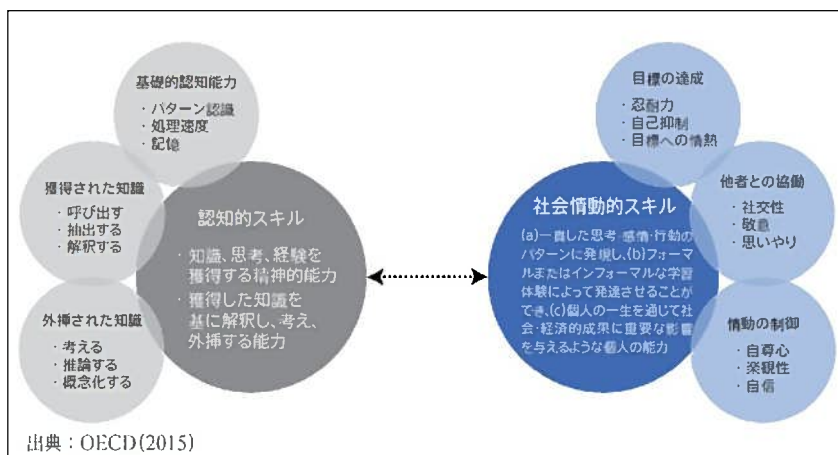
新しい教育総合計画では、「多様性・包摂性」が基本理念の具体の一つとなっている。一人一人の自分らしさを認め、互いを尊重し合いながら、誰もが活躍できる環境を実現していくためには、知・徳・体を一体的に育む日本型学校教育の重要性についてあらためて考えることがかぎとなると考える。

「知」：確かな学力の育成を目指して、授業改善を進める

「徳」：VUCA時代をしなやかに生き抜く力※を育む

「体」：自分の体と安全について知り、自らを鍛える力を育む

※（その一つとして）社会情動的スキル
…OECD（経済協力開発機構）の
ラーニングコンパス（学びの羅針
盤）2030により示されたスキ
ル。認知的スキルと社会情動的スキル



着眼点②：「令和の日本型教育」を担う教師及び教職員集団の実現

着眼点①で挙げた知・徳・体にわたる全人的な日本型学校教育を進めていくにあたり、現在の学校現場を見つめ直す必要がある。近年、学校が対応する課題は複雑化しており、保護者や地域からの期待も高く、負担は増しているのが実態であり、教師を取り巻く環境整備は喫緊の課題である。長時間労働の解消を図り、日々の生活の質や教職員人生を豊かにすること、及び教師一人一人が意欲と能力を最大限発揮できる環境を整備することが、教師がその高い専門性を発揮し、子供たちにより良い教育を行うことにつながる。

そこで、働き方改革と学校の指導・運営体制の充実を一体的に取り組み、いわゆる「働きやすさ」と「働きがい」のある職員集団を目指していく。



出典：全連小徳島大会文科省講話資料

「チーム有玉」人づくり宣言（目指す学校の姿）

- 知・徳・体のバランスのとれた『未来の創り手』を育むことを目指します
- 子供が自分らしく力を伸ばすことのできる学校・学級づくりを進めます
- 「すべての子供を、すべての職員で」支援や指導を進めます
- 互いに励まし合い、働きやすさと働きがいのある職員集団を目指します 《グランドデザインより》

(様式1)

令和7年5月8日

浜松市立有玉小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 村田 実佳 様

浜松市立有玉小学校運営協議会会長

夢育やらまいか事業に対する意見書(案)

令和7年5月8日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 地域の人材や素材を活用し、地域の様々な方と連携した活動を行うことで、児童の社会性を高め、視野を広げる。
⇒地域の語り部や特技・技術をもつ講師を招聘する。
- ② 現在行っている生き方教育の充実を図り、キャリア教育につなげていくべきである。
⇒高学年を対象に、自分の夢や特技を生かした職業についている方に、その生き方ややりがいなどを語ってもらう場を設定する。